

① 読んで答えましょう。

消防しょの人は、119 番をうけたときに、できるだけ はやく 火事のげん場にかかけつけ、消火 します。そのために、ふだんからしています。防火服、マスク、ボンベなど、火事のげん場と同じそうびをして、はしご をのぼったり、走り回ったりくん練をします。そのため、使う道具を 点検 することも大切です。消火活動は、きけんなこともあるけれど、みんなの 命 や ざいさん を守る仕事です。

### 道具のヒミツ

○防火服は、1200度 の火に 約17 秒間たえられる。

じょうぶでやぶれにくいから、あんぜん

○防火服とマスクで、10 kg、ボンベ 10 kg

○ヘルメットは、耳 や 頭 がすべてかくれるようになっている。

### きんむ時間のヒミツ

○夜に火事が起きてもかけつけられるように、消防しょは 24 時間休まず働いている。

## 消防自動車のヒミツ

○消火や救助のための 道具 が、たくさんつまれている。

○サイレンの大きな音や赤色とう、スピーカーを使って市民に知らせる。

○火事の場所や大きさにより、出動する消防自動車がちがう。

どんな消防の車を知っているかな？

ポンプ車

タンク車

はしご車

レスキュー車 等

○ はしごが長くのびるので、高いビルの火事でも消火や救助ができる。

## ヒミツの共通点

はやく！ かくじつに！ あ **ん** ぜ **ん** に！

仕事ができるくふうがある。

まとめ

消防しょの人たちは、火事 が起きたときに、 対応できる

ように、毎日火事そなえての くんれん を行っ

ている。